

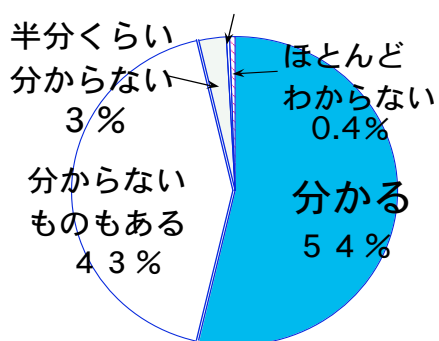
札幌市ごみ有料化3ヶ月後 意識調査 (環境研究会)

調査日：平成21年10月1日～10月31日

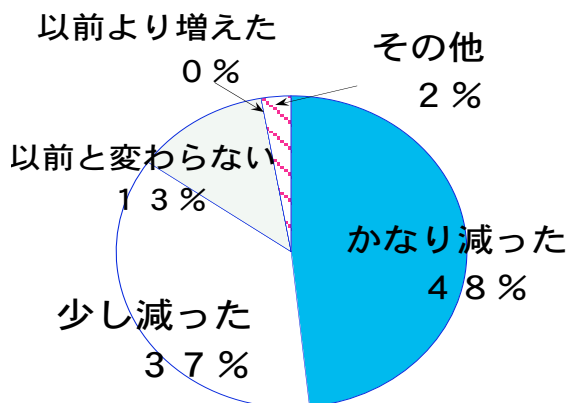
調査対象者：協会会員90%

有効回答数：224人

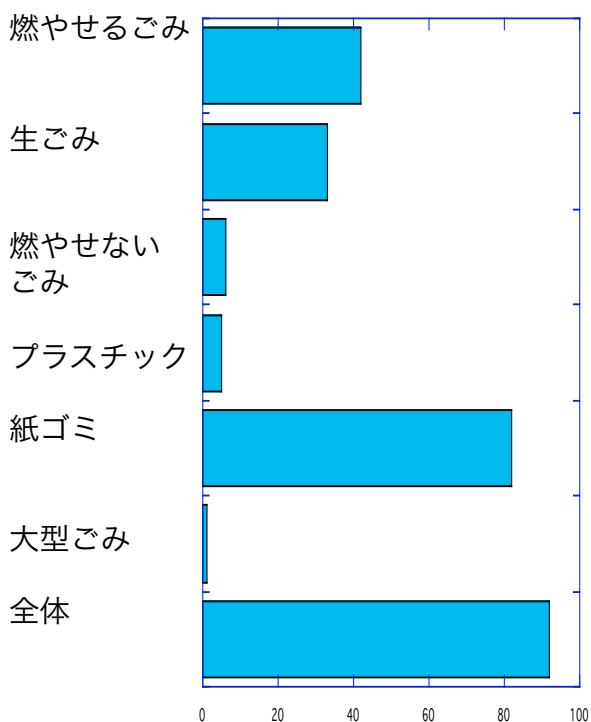
◇ 分別の仕方が分かりますか



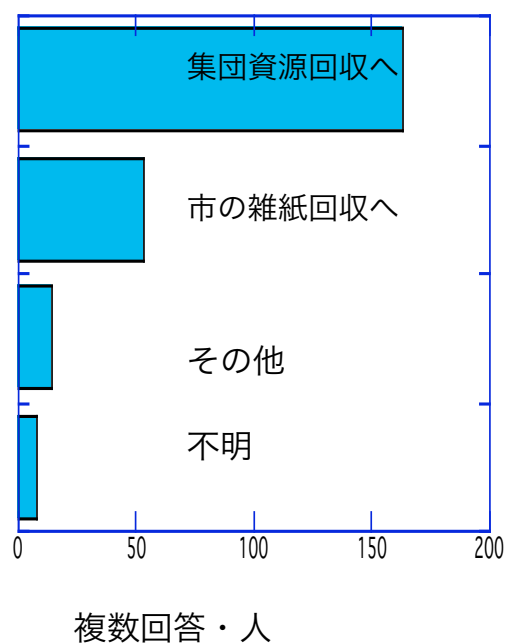
◇ 燃やせるごみは減りましたか



◇ 有料化後、どんなごみが減りましたか

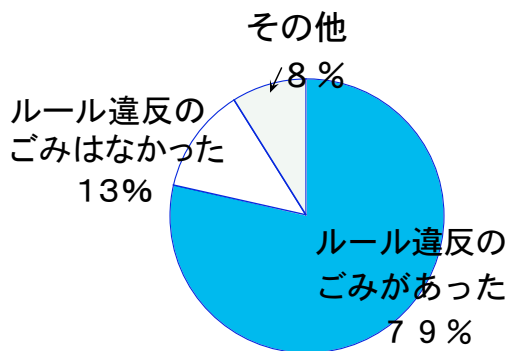


◇ 集団回収に出していた主要古紙はどう排出していますか

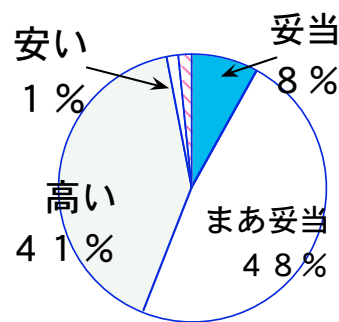


複数回答・人

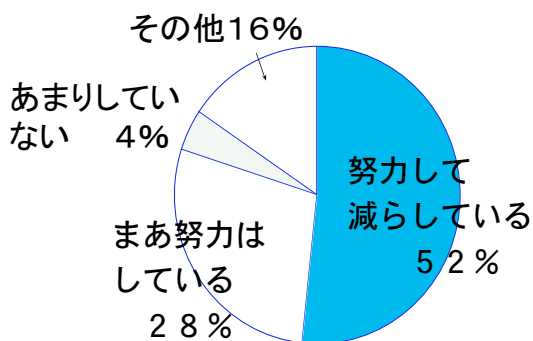
◇ ごみステーションにルール違反のごみがありましたか



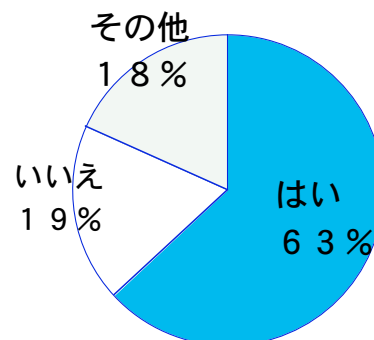
◇ ごみの価格について



◇ 有料化後排出するごみを減らす努力をしていますか



◇ ごみのことを考えて買い物をするようになりましたか



◆札幌市の「スリムシティさっぽろ計画」でのごみ量管理目標は平成22年度に家庭ごみ量が348,600t（一人500g/1日）以下とした。平成21年7月～12月の有料化後6ヶ月では20年同月に比較し家庭ごみ総量は20%減少した。燃やせるごみは36%減、燃やせないごみは68%減、びん・缶・ペットボトルは15%増、容器包装プラスチックは31%増。このまま燃やせるごみの量が減少へと推移すれば清掃工場の建て替えは必要ではなくなる。

◆今回の札幌消費者協会の調査より

- ◆女性が90%、50・60・70代合わせて73%、単身・2人世帯合わせて48%。
- ◆「分別がわからないものがある」が47%と半分近くある。プラスチック素材に関して「燃やせる」のか「容器包装」なのか分からない、又プラスチックと紙、紙とアルミニウム等の複合素材の分別が分からないとの意見が多かった。雑紙の分別も10%の人が分からないと答えている。
- ◆雑紙では段ボールを同時に収集することで量が多くなり、再度段ボールの分別をしなければならないことが問題となっている。24%の人が集団資源回収に排出していた主要古紙を市の雑紙回収へも排出している。集団回収の回数が少ない、そのものが実施されていない等の地域では今後検討しなければならないと思う。
- ◆「ごみ袋の価格」については41%が高いと回答。
- ◆負担を感じている市民の為に、有料化前にはおよそ43億円と見込まれていた手数料の有効的な用途をオープンな場で議論して欲しい。
- ◆「ごみを減らす努力をしている」が80%、「ごみのことを考えて買い物をするようになった」が63%ありごみ減量の意識は高くなったといえる。